

平成26年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	結核予防事業						担当部	健康福祉部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	保健センター			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	予防係		
	総合計画 分野別計画	主目的	2 保健・福祉		6 健康づくり		1 心と体の健康づくりへの取組みを支援します				
		副目的									
	予算区分	款	4	項	1	目	2	大	3	中	2
	根拠法令・個別計画	感染症予防法									
	目的 (対象をどのような状態にするのか)	幼児を対象に結核を予防し、高齢者を対象に結核を早期に発見し、結核の感染の広がりを防いでいく。									
	内容 (手段)	<p>◆25年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生後5か月から1歳未満の子(標準接種期間:生後5か月以上8か月未満)を対象に保健センターでBCGの接種を実施した。</li> <li>・65歳以上の高齢者を対象に各市民センター等で検診車によるX線撮影を実施した。</li> <li>・職員は、BCG予防接種の受付及び介助、胸部X線撮影の受付事務等を行った。</li> </ul> <p>◆25年度直接経費の内訳 消耗品、医療材料費等(2,770千円) 結核予防委託料等(2,997千円)</p> <p>○26年度実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生後5か月から1歳未満の子が対象のBCGについては、平成25年度と同様に実施する。</li> <li>・65歳以上の高齢者が対象の胸部X線撮影については、平成25年度と同様に実施する。</li> </ul> <p>◆26年度直接経費の内訳 消耗品、医療材料費等(5,754千円) 結核予防委託料等(5,104千円)</p>									
	受益者負担	無									

		単位	H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	8,471	6,768	5,767	10,858	
		正職員	従事者数	人	0.10	0.10	0.10	0.10
			人件費	千円	526	526	526	526
		その他職員	従事者数	人	8.00	8.00	8.00	8.00
			人件費	千円	826	798	750	867
		費用合計		千円	9,823	8,092	7,043	12,251
対前年比		%		82.3	87.0	173.9		
財源	一般財源	千円	9,823	8,092	7,043	12,251		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H23	H24	H25	H26
	績	BCG実施数	回	目標	48	48	48
実績				48	48	24	
	胸部X線健診実施数(住民健診)	回	目標	5	5	5	5
			実績	4	5	5	
	成果指標名	単位		H23	H24	H25	H26
			目標	—	—	—	—
	BCG接種者数	人	実績	1,467	1,363	1,154	
			目標	500	500	500	500
	胸部X線検診受診者数(住民健診)	人	実績	246	242	207	
			目標				

事業の自己評価	平成25年度の実施結果	事業の達成状況	結核の感染を予防するためのBCG接種率は83.2%であった。結核を早期に発見するために、胸部X線検査を65歳以上の高齢者を対象に実施した。受診者数は、207人と年々減少しているが、各医療機関で行っている胸部X線検診は、年々増加しており、この検診において結核の有無の読影も実施している。				
		事業実施における課題	結核の感染を早期に発見するためには、高齢者等の受診者を増やす必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	結核の感染者が増加し、入院者、死亡者が増加する。				
	平成26年度の改善内容	26年度における事業の改善・見直し内容(新規追加事項、廃止・削減事項等)	胸部X線検査の受診者を増やすため、広報での周知、地区でのミニ健康展との同時検査、老人福祉センターでの検査等を実施することとする。				
平成27年度の事業の方向性	方向性の判定	維持	事業のボリュームを現状規模で維持すべきもの(対象や手段を見直す場合も含む)				
	判定理由	BCG接種、胸部X線撮影により結核の感染の広がりを防ぐために必要であるため。					
	27年度以降の改善案	胸部X線検査の受診者を増やすため、広報での周知、地区でのミニ健康展との同時検査、老人福祉センターでの検査等を実施することとする。					

二次評価	方向性の判定	判定理由
	維持	一次評価のとおり。